

核兵器廃絶と平和な世界をめざして 東京都生協連ピースアクションニュース

第4号 東京都生協連平和活動担当者連絡会

発行日 2009年5月16日
発行責任者
専務理事 伊野瀬 十三
東京都中野区中央 5-41-18
東京都生協連会館
電話:03-3383-7800
<http://www.coop-toren.or.jp/>

2009ピースアクションinTOKYO&ピースパレード 核なき世界をめざして

今 世界は核兵器廃絶に向けて 歴史的転換点に



東京ウイメンズプラザホール（渋谷）

表参道でのピースパレード ⇒

5月13日、今年で5回目となるピースアクションin TOKYO&ピースパレードが開催されました。東京都原爆被害者団体連絡会（東友会）、特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟そして東京の生協の三者が主催、日本生協連が協賛、被爆者のみなさんをはじめ170名が参加しました。講演、広島、長崎両市長のメッセージ、参加団体リレートーク、そして東京から核兵器廃絶を求めるアピールの採択が行われ、オバマアメリカ大統領、全ての核保有国に届けられました。





講演会

「核兵器は廃絶できる」

アメリカのオバマ大統領のプラハ演説により核兵器廃絶への機運が一気に高まったこと、来年は国連で5年に一度開催される核不拡散条約再検討会議が開催されることもあり、日本から、そして東京から強いメッセージを送るために、広島市平和文化センターの本多正登常務理事をお迎えし、お話を伺いました。

「核兵器は廃絶できる」と確信し、ピースパレードへと進みました。

本多正登常務理事による講演会 ↑

全国大学生協連東京地域センター事務局（高崎経済大学4年）の古瀬香織さんが、「核のない世界」の実現を目指して、バラク・オバマ アメリカ合衆国大統領閣下・・・私たちはプラハ演説を全面的に支持し、オバマ大統領が核兵器廃絶に向け強いリーダーシップを発揮され、私たちと共に世界から核兵器を一掃する日まで行動をすることを願ってやみません・・・と力強くアピールを読み上げ、会場からの大きな拍手で採択されました。



必要なのは

子どもたちの未来を守るという

強い意志と行動力

